2015年度
第2四半期決算　概要

第92期：第2四半期累計期間（2015年4月1日～2015年9月30日）

2015年11月18日

太平洋工業株式会社

目　次

1. 会社の概要
2. 2015年度第2四半期業績実績
3. 2015年度業績予想
4. 長期ビジョン・中期経営計画

本資料取り扱い上の注意点

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、日本および海外の経済情勢や当社の関連する業界動向、為替変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予想と大幅に異なる可能性があります。

1-1　当社の概況

◆創業　　1930年8月
◆代表者　　社長　小川信也
◆資本金　　43億4千万円
◆株式　　東証・名証一部上場(’70年8月)　証券コード:7250

セグメント / 事業		プレス樹脂製品事業	バルブ製品事業		その他	合計
			タイヤバルブ・制御機器事業	TPMS事業		
単独	売上高('15予想)	396億円 (63%)	108億円 (17%)	121億円 (20%)	—	625億円
単独	主要工場	西大垣・東大垣・養老 九州・栗原・若柳	美濃・北大垣	北大垣	—	国内8工場
連結	売上高('15予想)	727億円(70%)	314億円(30%)		4億円(0%)	1,045億円
連結	人　員	2,240人	990人		230人	3,460人
連結	海外生産拠点	台湾・米国 中国・タイ	台湾・韓国・タイ	米国・中国	—	5ヶ国 9会社
主要製品		プレス加工 樹脂加工、金型	タイヤバルブ、バルブコア 空調用制御弁 カーエアコン用コンプレッサー部品	TPMS	ソフトウェア 保険代理店	
主要顧客		トヨタ、ダイハツ、日野 三菱、ホンダ、スズキ プライムアースEVエナジー マツダ	ブリヂストン、横浜ゴム、住友ゴム、東洋ゴム イノアック、ミシュランタイヤ、トピー工業 デンソー、豊田自動織機、サンデン、HANON、 ヴァレオ、パナソニック、東芝	トヨタ 日産 ホンダ	地域企業	

1-2 企業結合の状況

★は新会社

プレス・樹脂製品事業

連結

台湾
太平洋汽門工業股份有限公司
1984年設立 売上高:60億円 人員:289人

タイ
Pacific Industries (Thailand) Co., Ltd
1989年設立 売上高:23億円 人員:239人

米国
Pacific Manufacturing Ohio, Inc.
1999年設立 売上高:260億円 人員:542人

★ Pacific Manufacturing Tennessee, Inc.
2014年設立

中国
天津太平洋汽車部件有限公司
2005年設立 売上高:76億円 人員:228人

長沙太平洋半谷汽車部件有限公司
2011年設立 売上高:13億円 人員:81人

国内
太平洋産業株式会社
1974年設立 売上高:11億円 人員:21人

持分法適用会社
PECホールディングス株式会社(日本)
1961年設立 売上高:196億円 人員:932人

バルブ製品事業

韓国
太平洋バルブ工業株式会社
1987年設立 売上高:18億円 人員:78人

太平洋エアコントロール工業株式会社
2004年設立 売上高:45億円 人員:183人

中国
★太平洋汽車部件科技(常熟)有限公司
2014年設立

欧州
Pacific Industries Europe NV/SA
2012年設立

その他

国内連結子会社

ピーアイシステム㈱
1987年設立
売上高:7億円
人員:60人

持株会社等

Pacific Industries USA Inc.
1988年設立

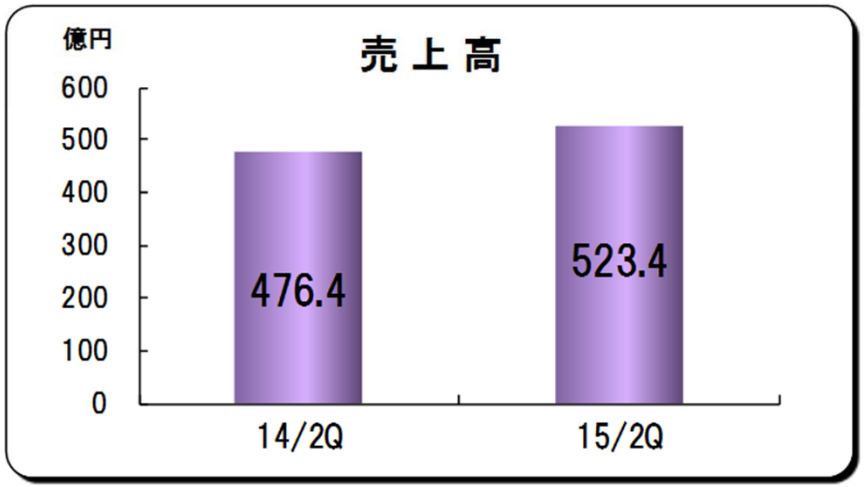
太平洋工業(中国)投資有限公司
2012年設立

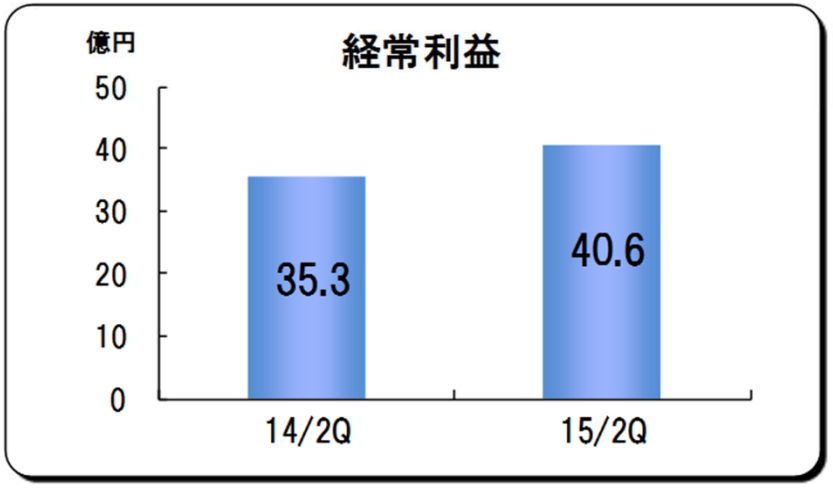
※2015年9月30日をもってゴルフ場事業より撤退

2-1　第2Q 連結業績

（百万円、%）

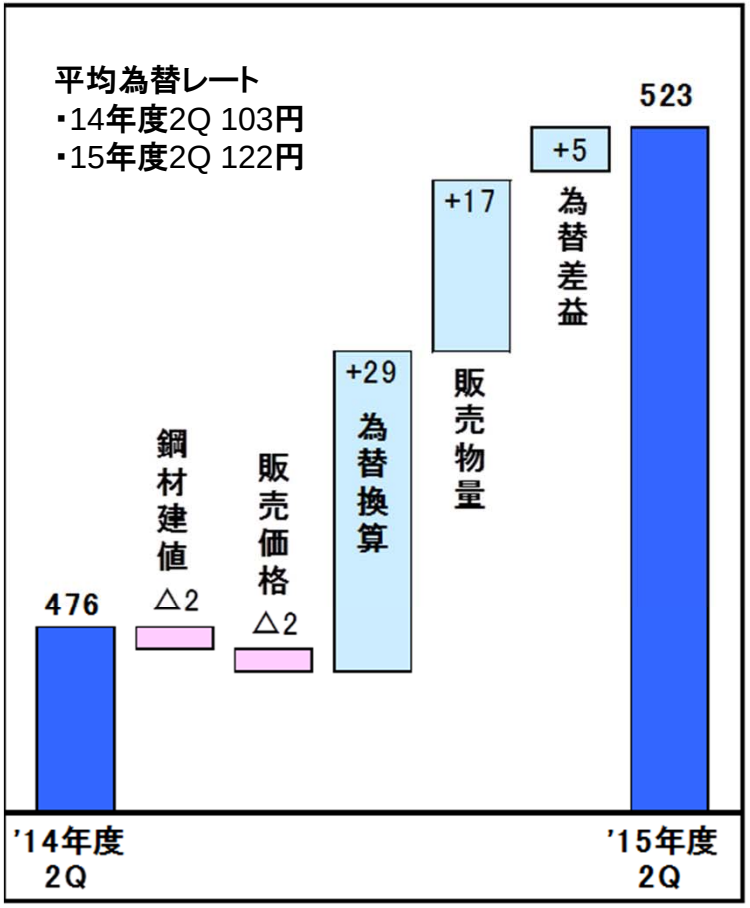
	前第2四半期	第2四半期				前四半期比		第2四半期累計
		4/27 前回予想値	実績	前回予想比				
				増減	増減率	増減	増減率	
売上高	47,640	49,000	52,340	3,340	+6.8	4,700	+9.9	4期連続の増収 過去最高
営業利益	2,889 6.1%	2,700 5.5%	3,393 6.5%	693	+25.7	503	+17.4	4期連続の増益 過去最高
経常利益	3,532 7.4%	3,300 6.7%	4,064 7.8%	764	+23.2	531	+15.1	2期振りの増益 過去最高
四半期純利益	2,464 5.2%	2,700 5.5%	3,365 6.4%	665	+24.6	900	+36.5	4期連続の増益 過去最高



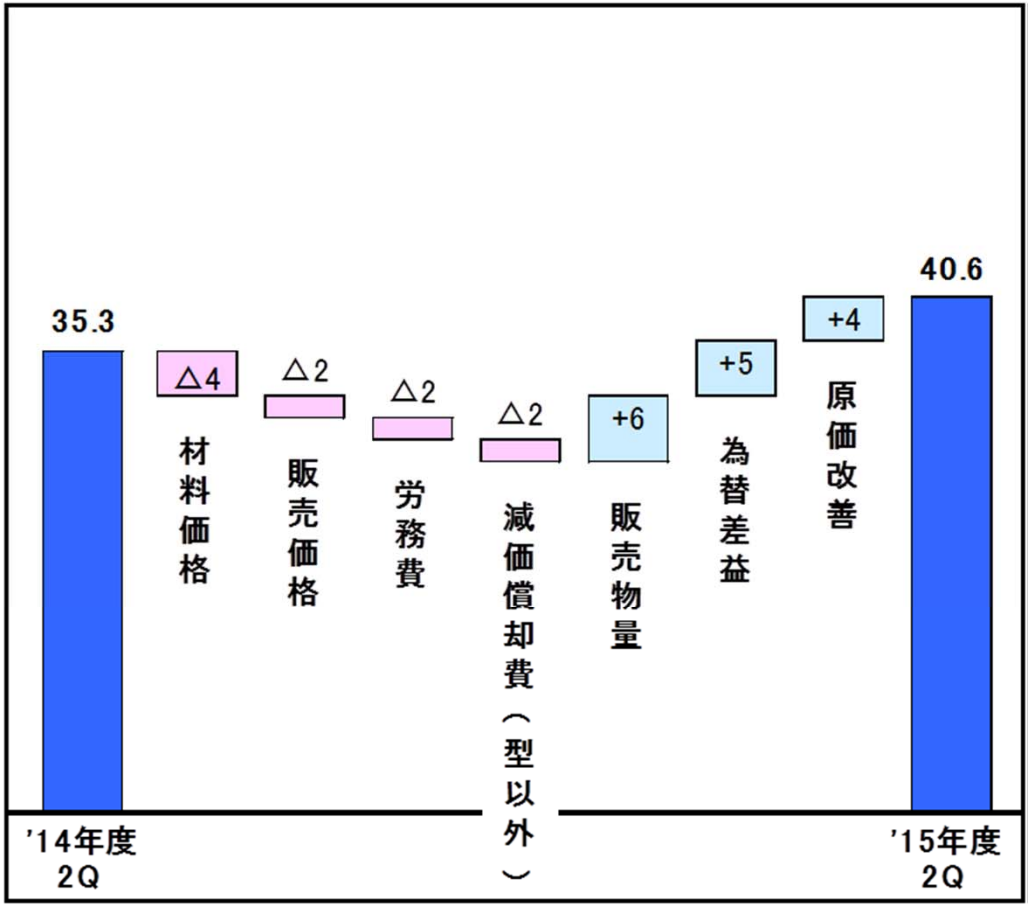


2-2　第2Q 連結利益増減要因

≪15年度2Q 対 14年度2Q≫
売上高+47億円

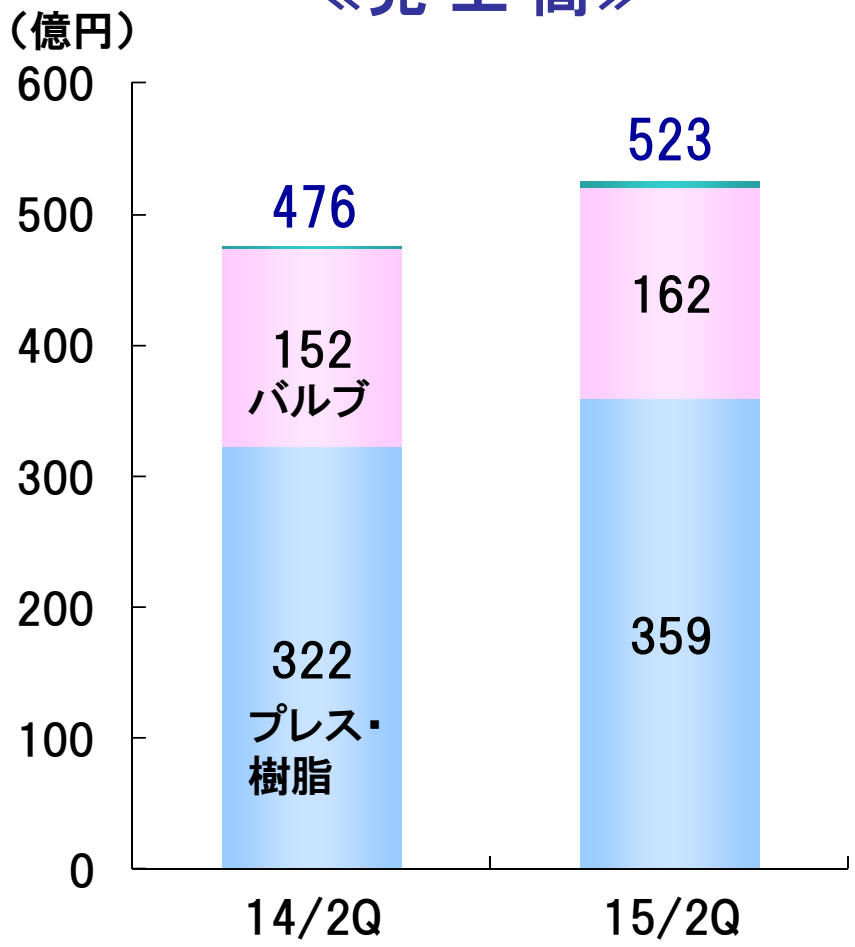


≪15年度2Q 対 14年度2Q≫
経常利益+5億円

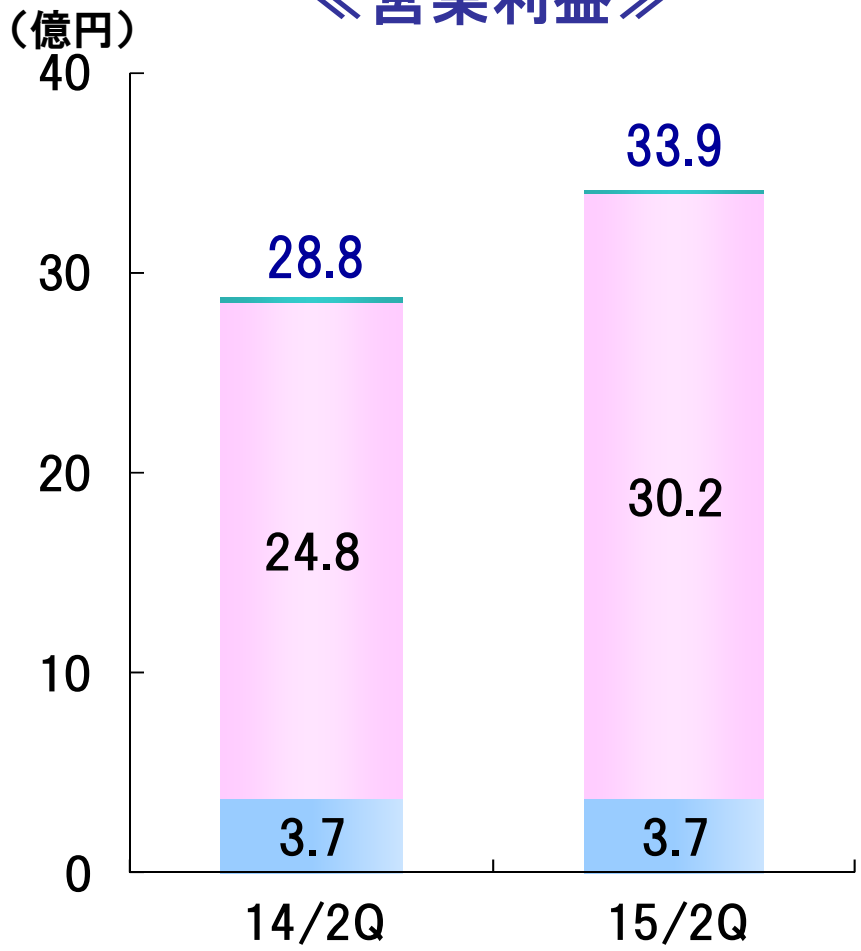


2-3　第2Q 連結事業別セグメント

≪売 上 高≫



≪営業利益≫

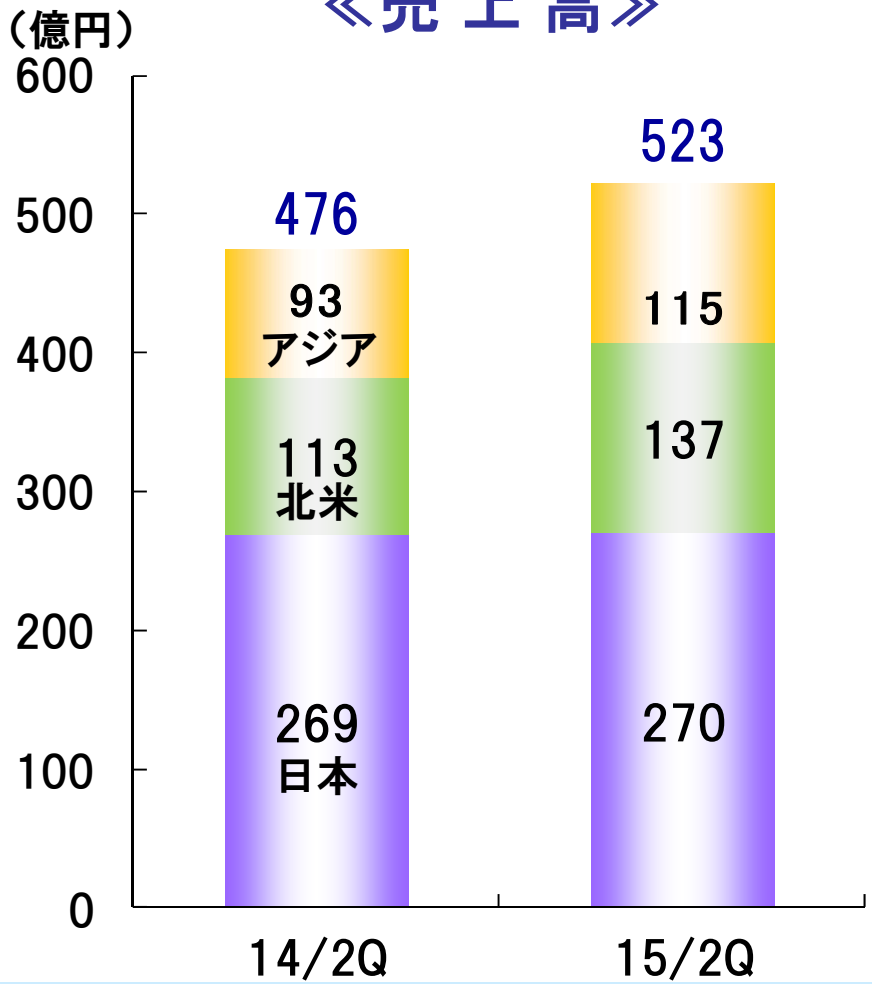


＜売上高＞
プレス・樹脂製品事業は新規顧客への拡販や円安による為替影響により増収となり、バルブ製品事業はTPMS製品の販売物量増加等により増収となった。

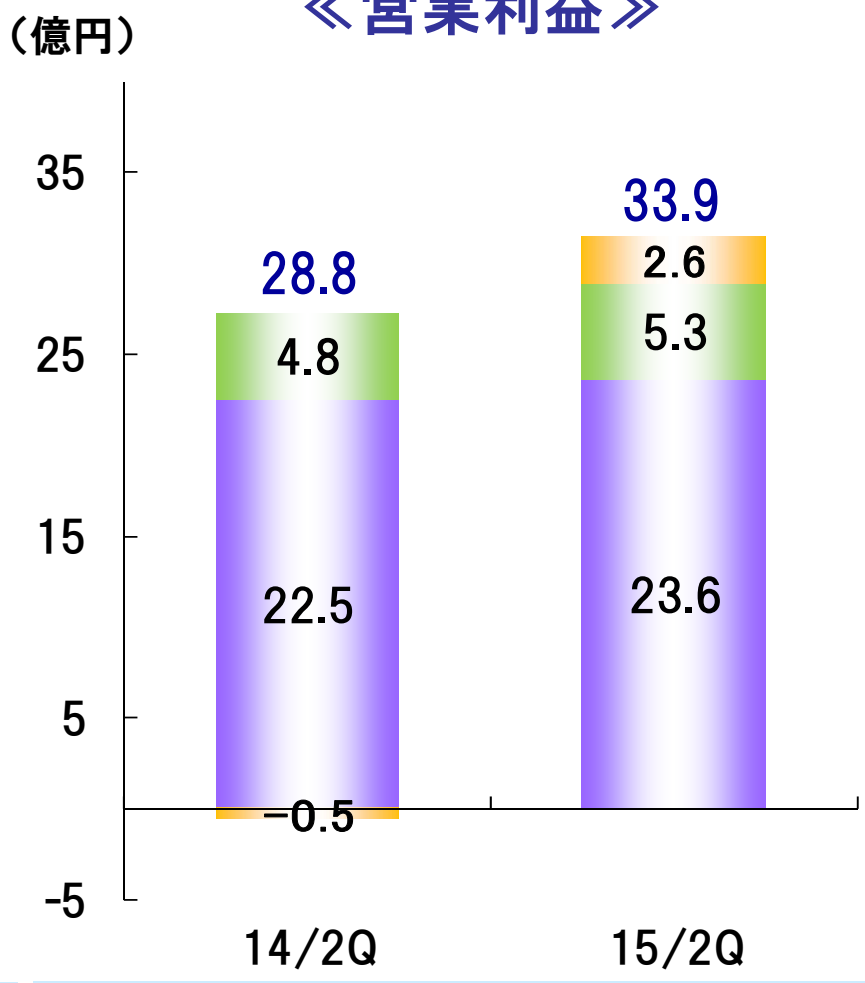
＜営業利益＞
プレス・樹脂製品事業は販売物量増加、原価改善があるものの、スクラップ安等により前年同期並みとなり、バルブ製品事業は為替差益、原価改善等により増益となった。

2-4　第2Q 連結地域別セグメント

≪売 上 高≫



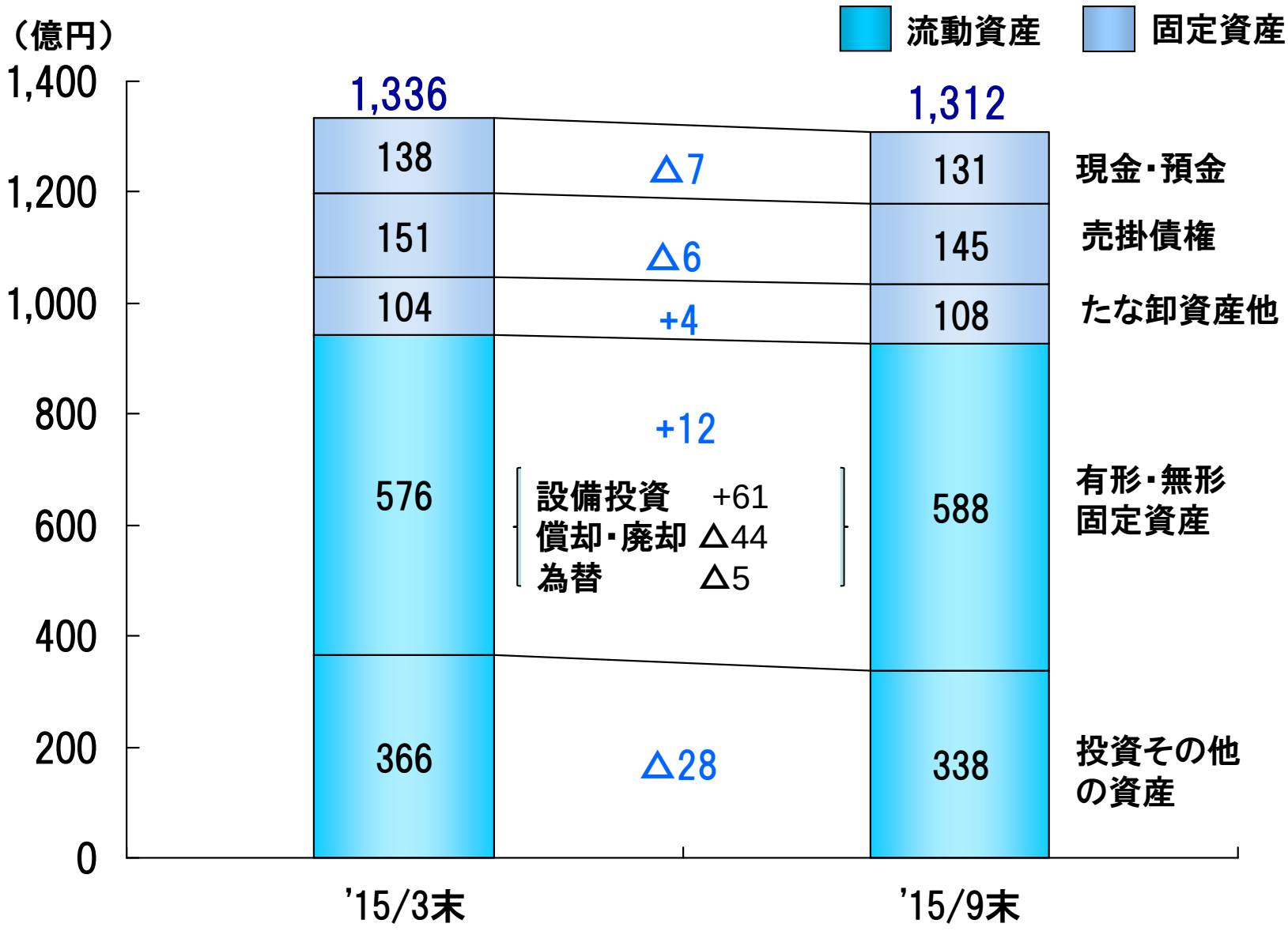
≪営業利益≫



＜売上高＞
日本は前年同期並みとなり、北米は堅調な自動車販売により増収、アジアは台湾事業が減収となったが、中国・韓国の事業拡充により増収となった。

＜営業利益＞
日本・北米は前年同期並みとなったが、アジアのプレス事業の収益改善により増益となった。

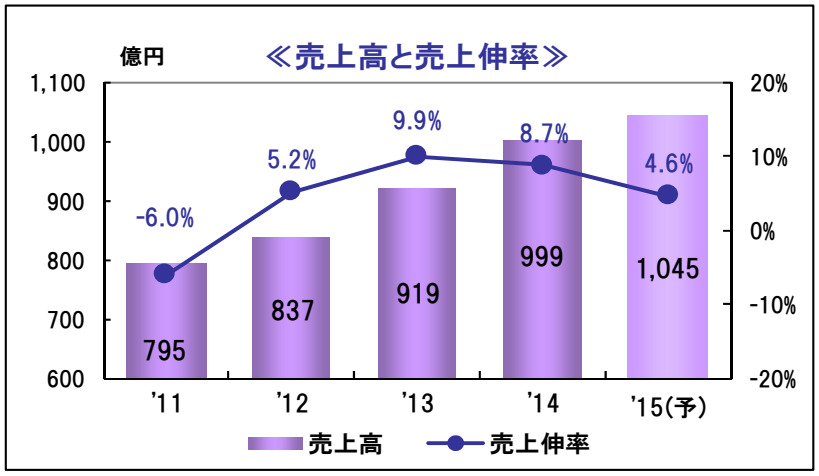
2-5 第2Q 連結総資産増減内訳

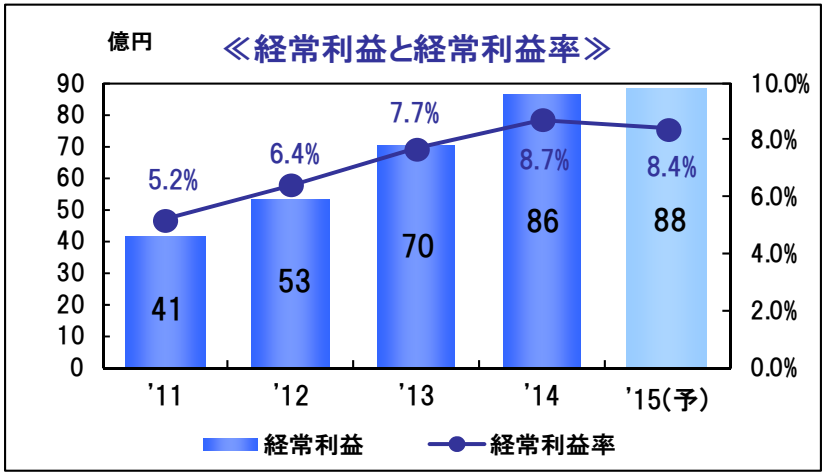


3-1　通期 連結業績予想

［百万円］

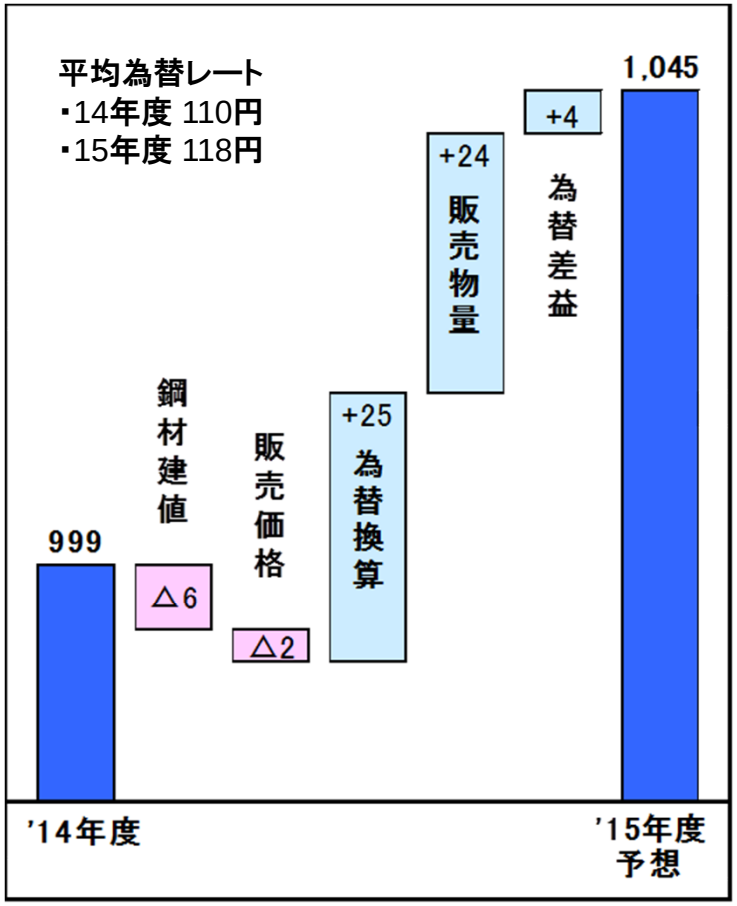
	'13	'14	'15 (4/27予想)	'15 (今回予想)	前回予想比 増減	前回予想比 増減率	前期比 増減	前期比 増減率	連単倍率	通期(予想)
売上高	91,976	99,952	102,000	104,500	2,500	2.5%	4,548	4.6%	1.7	4期連続の増収 過去最高
営業利益	5,500	6,962	7,000	7,700	700	10.0%	738	10.6%	1.5	4期連続の増益 過去最高
経常利益	7,062	8,691	8,200	8,800	600	7.3%	109	1.3%	1.4	4期連続の増益 過去最高
当期純利益	4,587	6,714	6,000	6,400	400	6.7%	△314	△4.7%	1.3	3期振りの減益
売上高経常利益率	7.7%	8.7%	8.0%	8.4%	0.4%		△0.3%			
ROE	8.7%	10.2%	7.9%	8.5%	0.6%		△1.7%			
ROA	6.6%	6.9%	6.0%	6.6%	0.6%		△0.3%			
一株当り純資産 (円)	1,079	1,385	1,469	1,417	△52	△3.5%	32	2.3%		



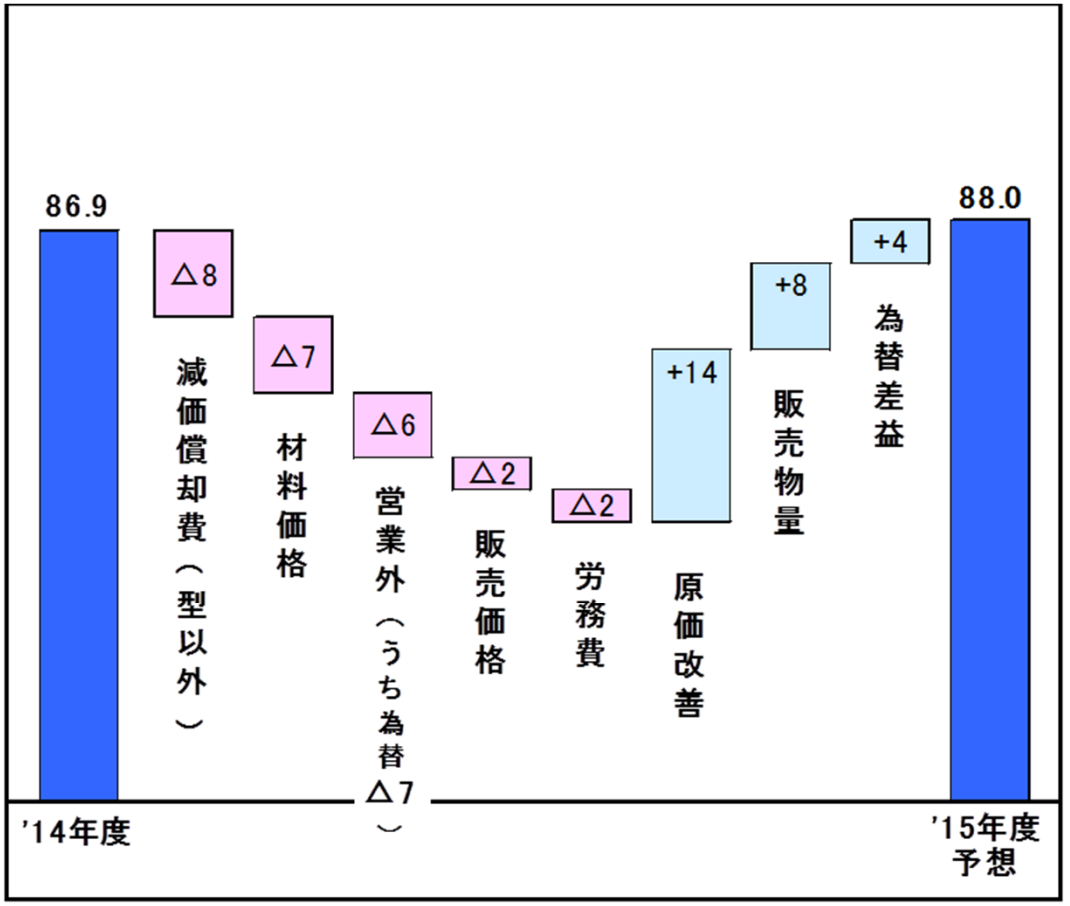


3-2 通期 連結利益増減要因

≪15年度予想 対 14年度≫ 売上+45億円

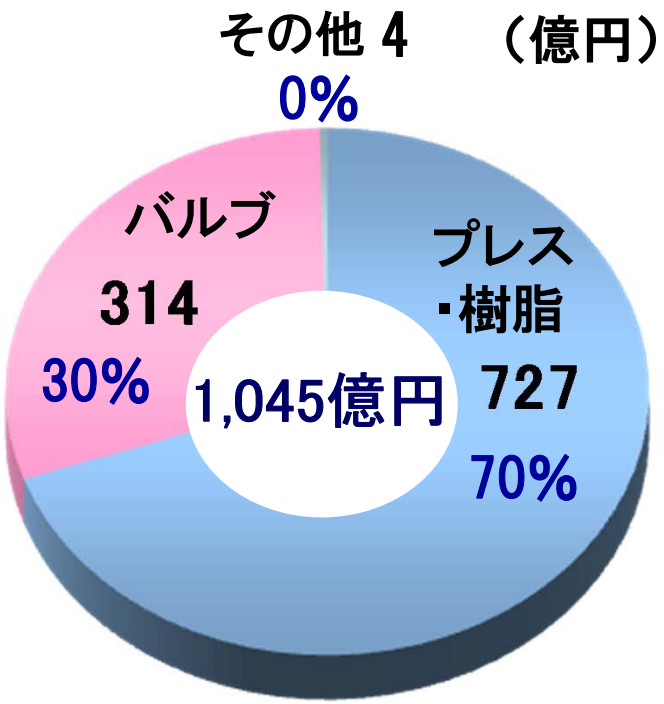


≪15年度予想 対 14年度≫ 経常利益+1億円

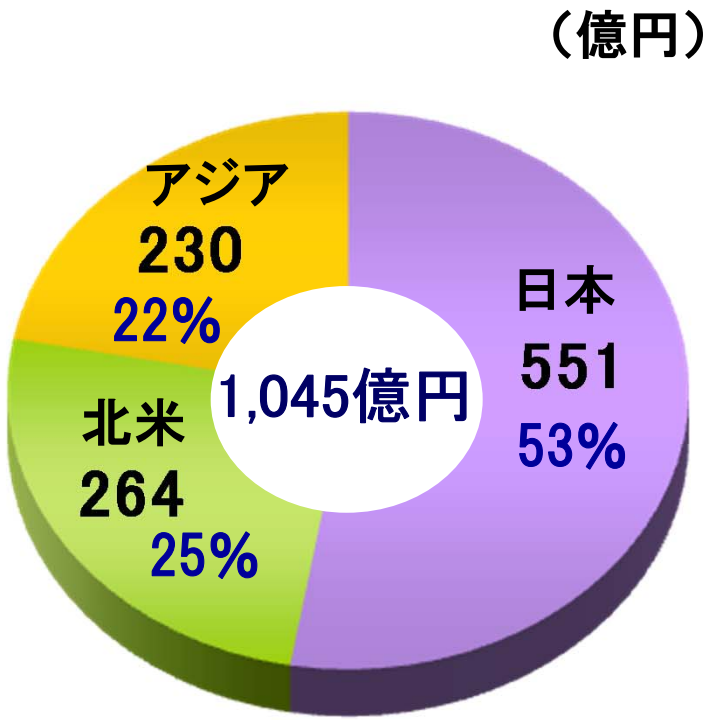


3-3 2015年度連結セグメント予想

事業別売上高

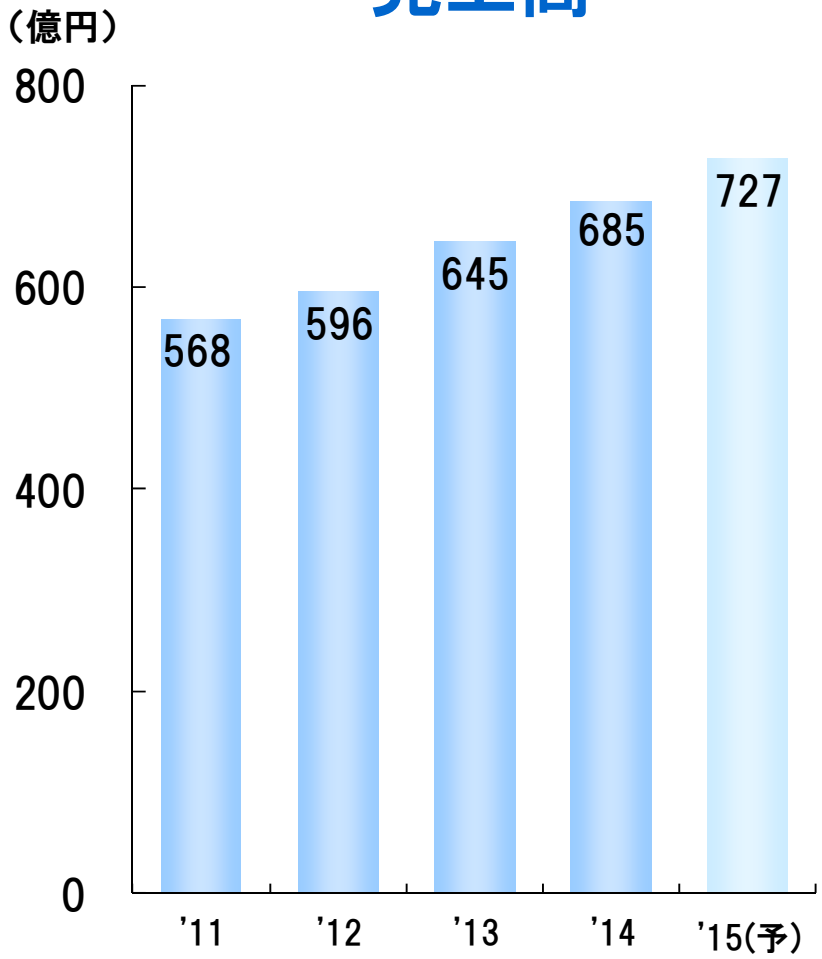


地域別売上高

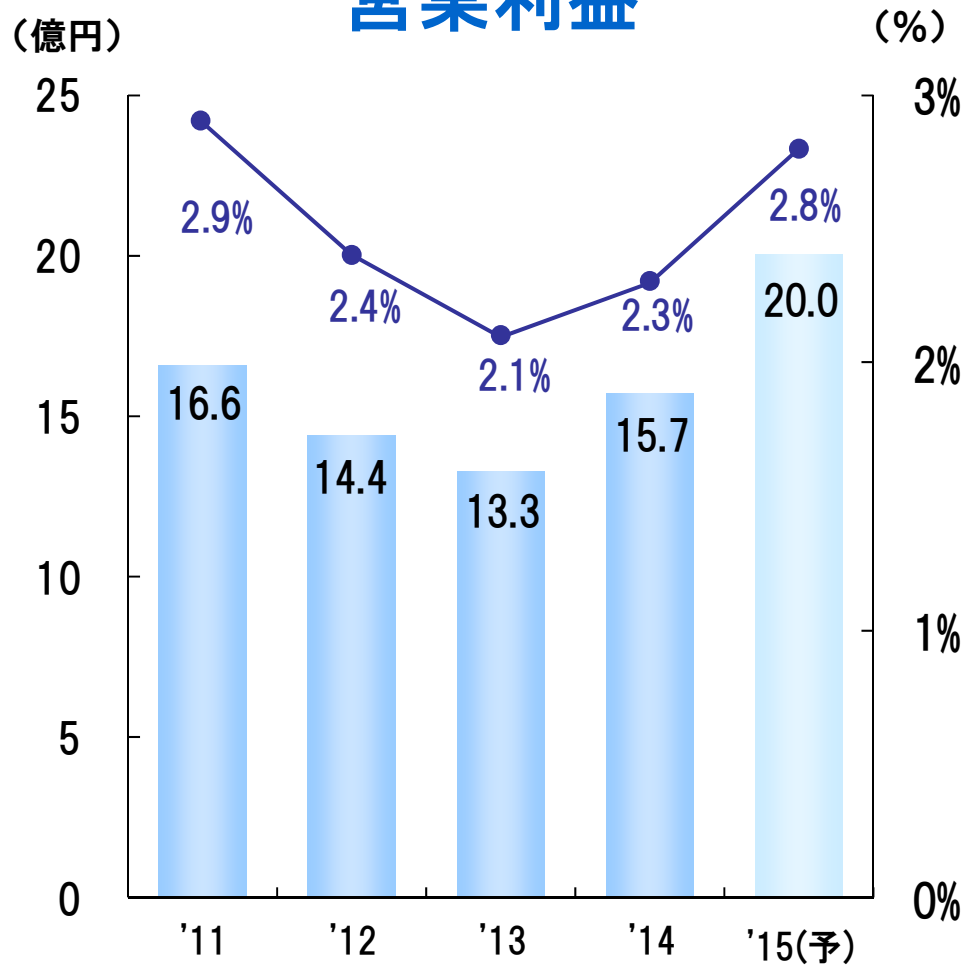


3-4 事業別セグメント：プレス樹脂製品事業

売上高



営業利益

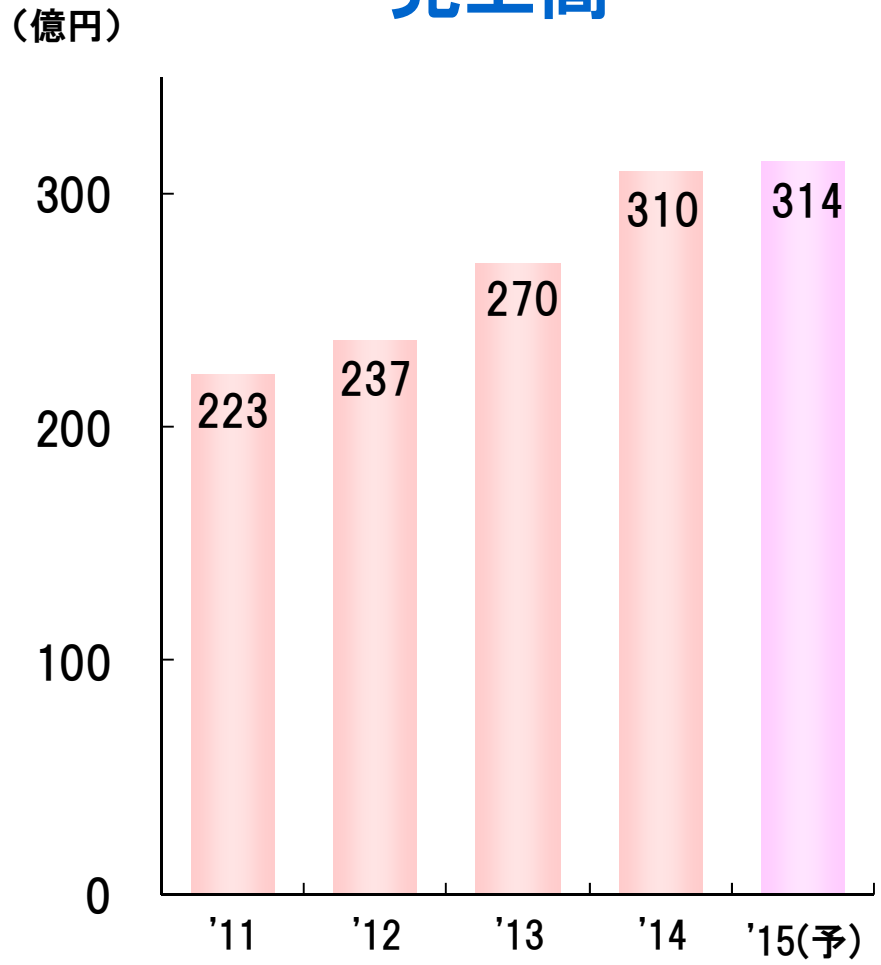


＜売上高＞
日本において前年並みと見込まれるものの、中国での拡販効果、タイの樹脂事業拡充、米国テネシー州のプレス事業開始等により、増収を見込む。

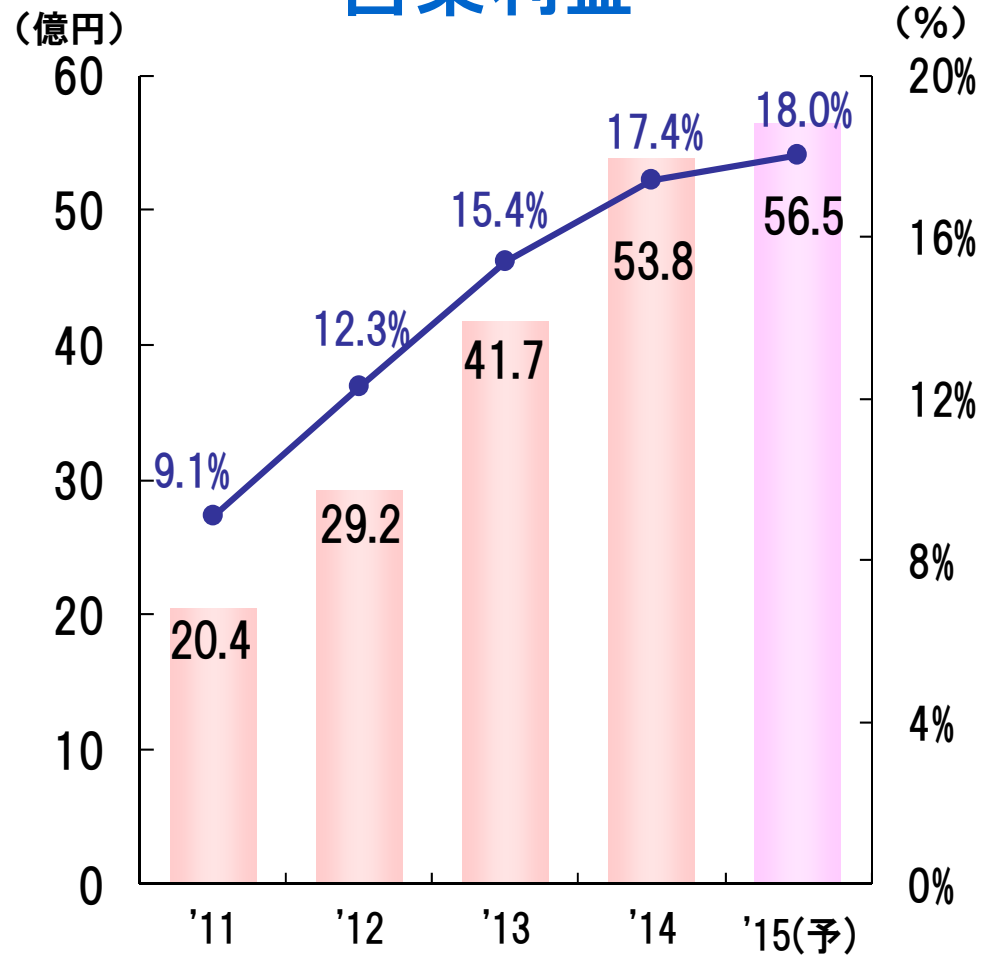
＜営業利益＞
設備投資の増加に伴う減価償却費の増加やスクラップ安による負担増があるものの、販売物量増加や中国プレス事業の収益改善等により、増益を見込む。

3-5 事業別セグメント：バルブ製品事業

売上高



営業利益

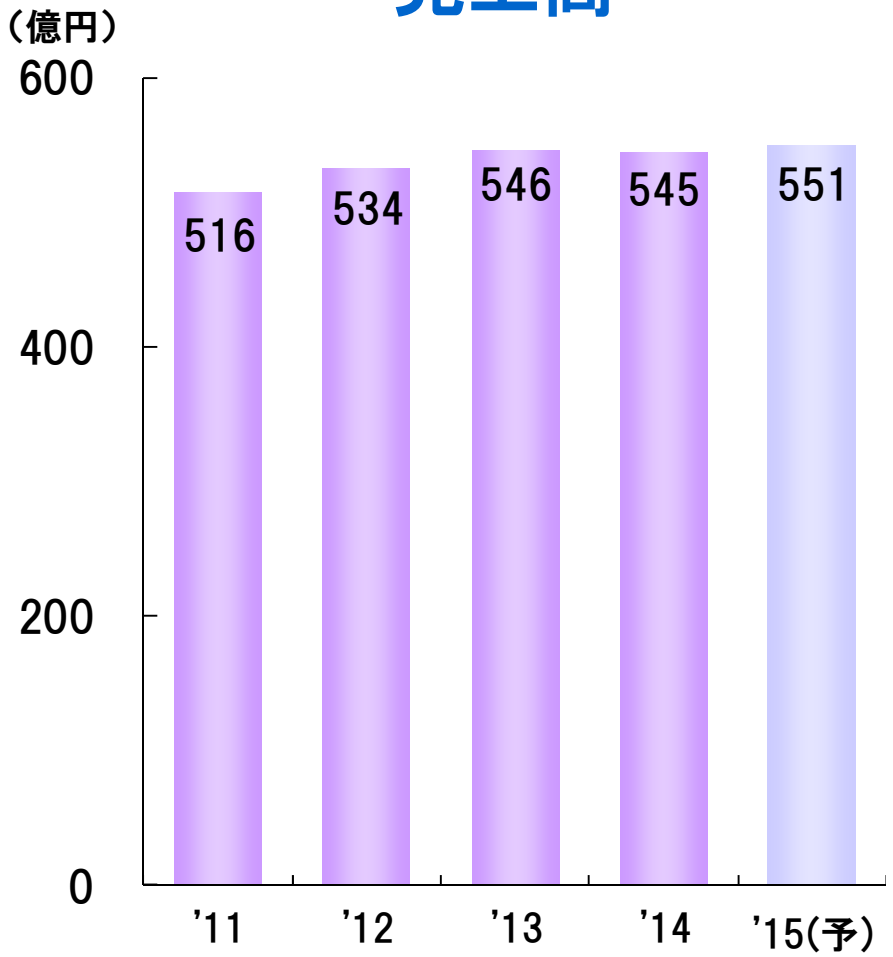


＜売上高＞
タイヤバルブおよびバルブ関連製品の減収があるものの、TPMS製品や韓国のアルミダイキャスト製品の増収が寄与し、前期を上回る見込み。

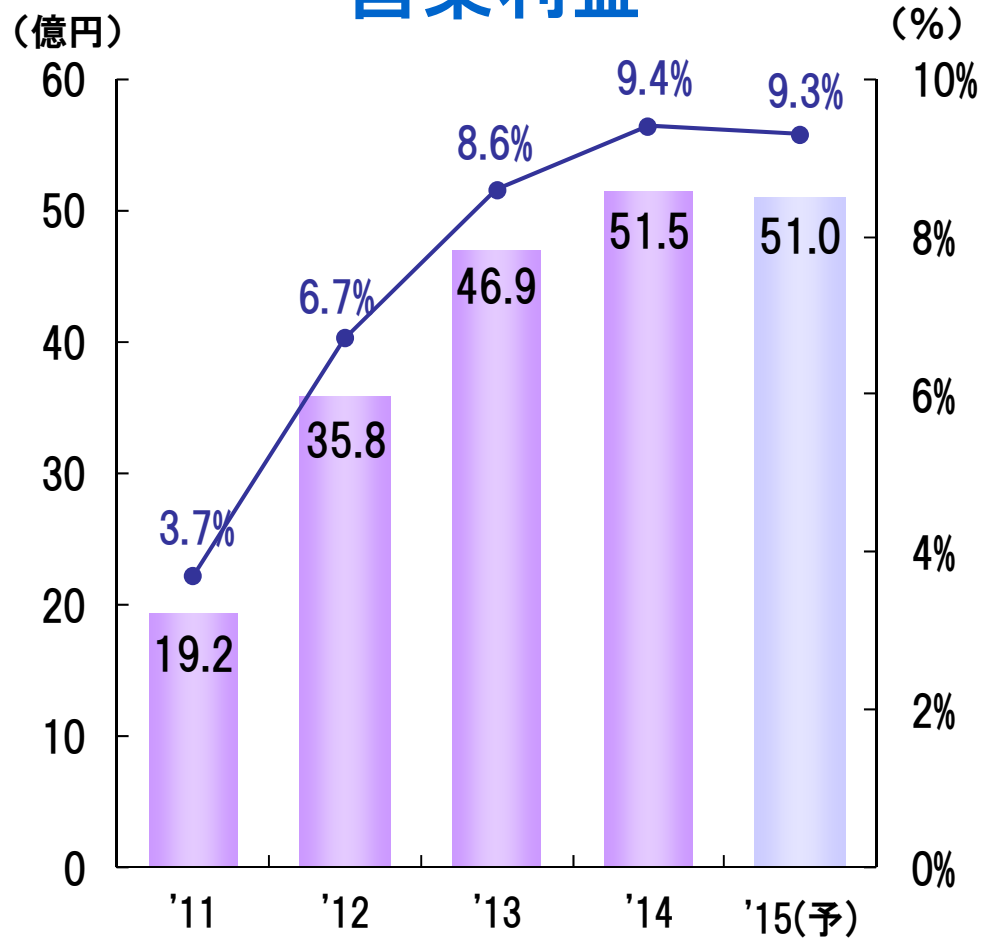
＜営業利益＞
販売価格の値下げ影響があるものの、為替差益や原価改善等により、増益を見込む。

3-6 地域別セグメント：日本

売上高



営業利益

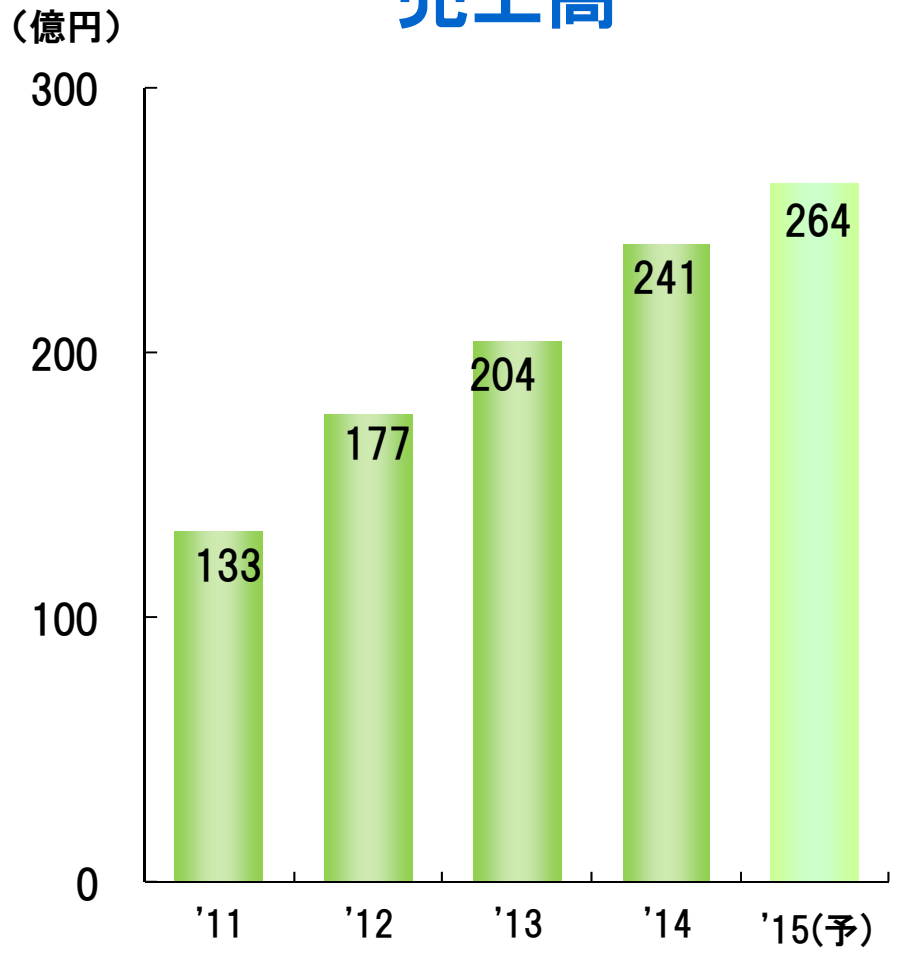


＜売上高＞
タイヤバルブ、バルブ関連製品の減収があるものの、主要顧客の自動車生産台数の増加等によるプレス・樹脂製品・TPMS製品の増収が寄与し、若干増益を見込む。

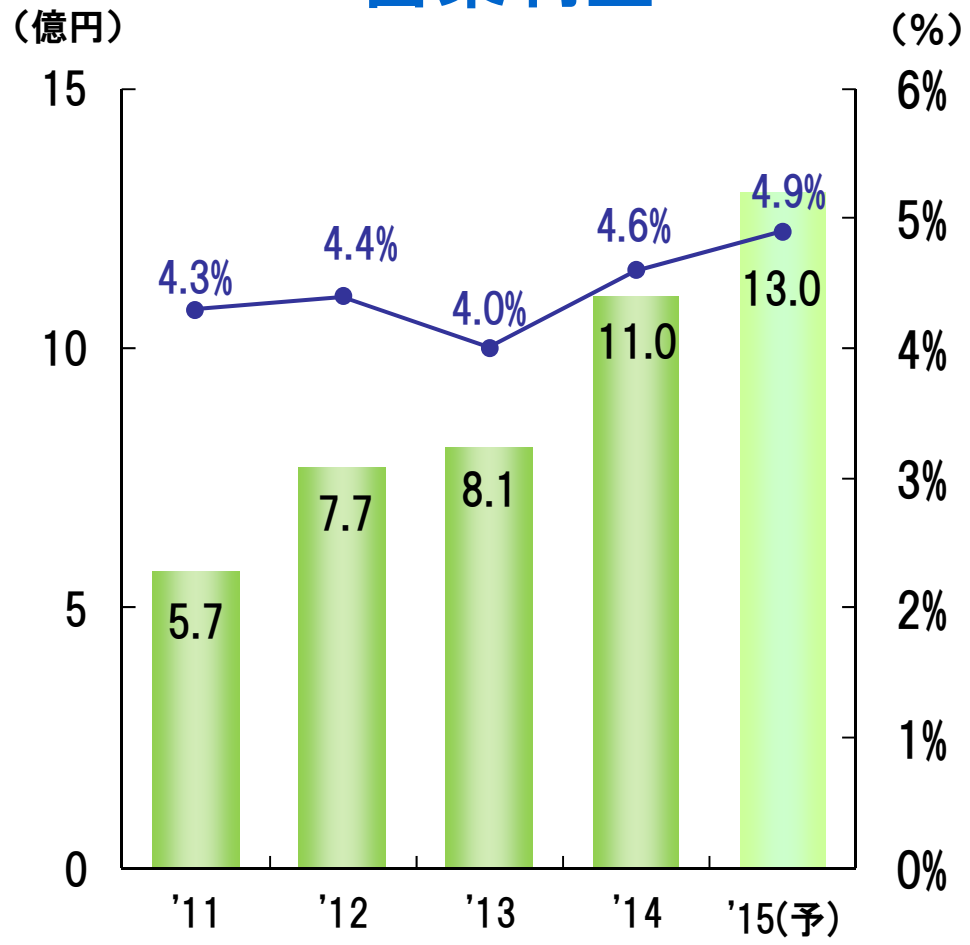
＜営業利益＞
原価改善や為替差益等があるものの、材料コスト負担や減価償却費の増加等により、前期並みを見込む。

3-7　地域別セグメント：北米

売上高



営業利益

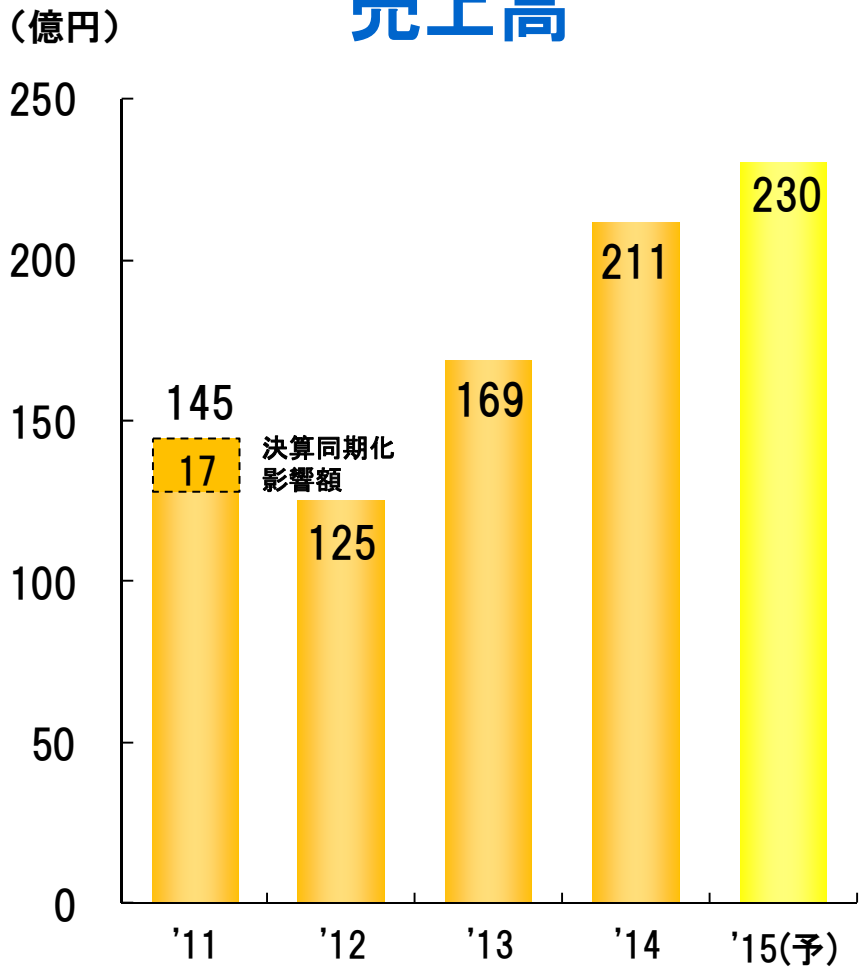


＜売上高＞
堅調な米国経済を背景に、主要顧客の自動車生産の増加による販売物量増や為替換算差のプラスにより、増収を見込む。

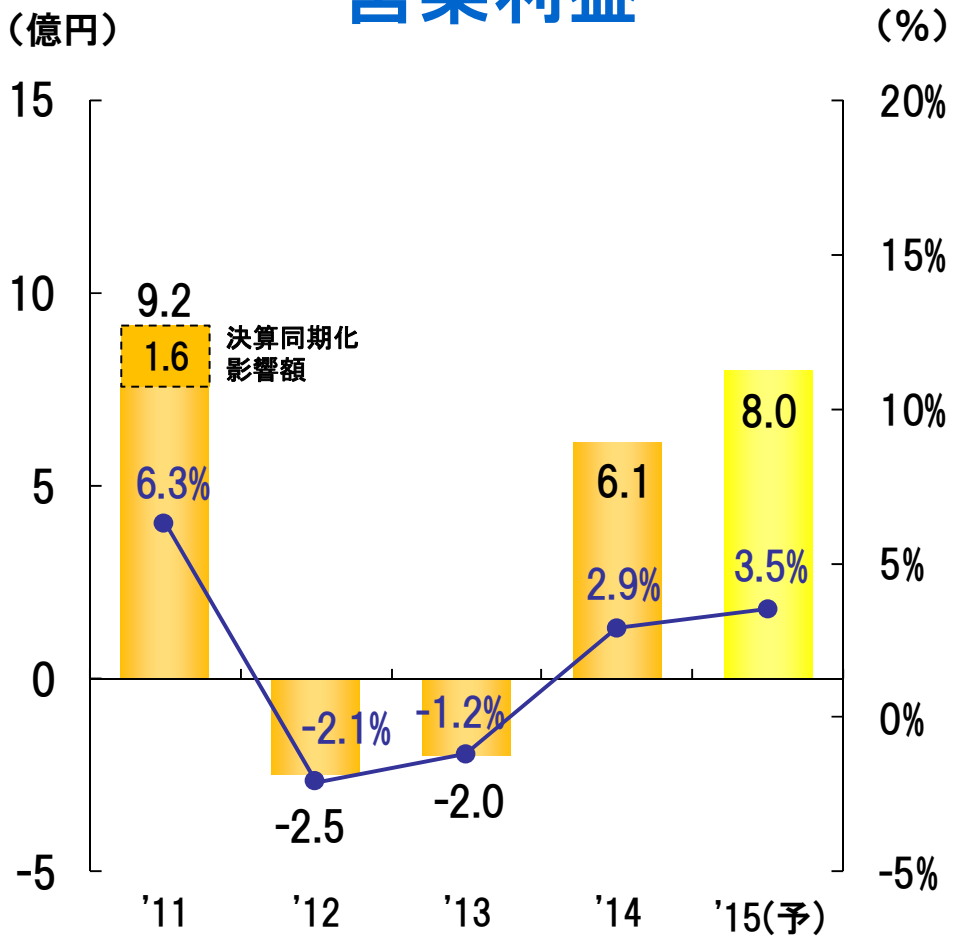
＜営業利益＞
米国テネシー州の子会社の立ち上げコスト負担があるものの、販売物量の増加や原価改善効果等により、増益を見込む。

3-8 地域別セグメント:アジア

売上高



営業利益

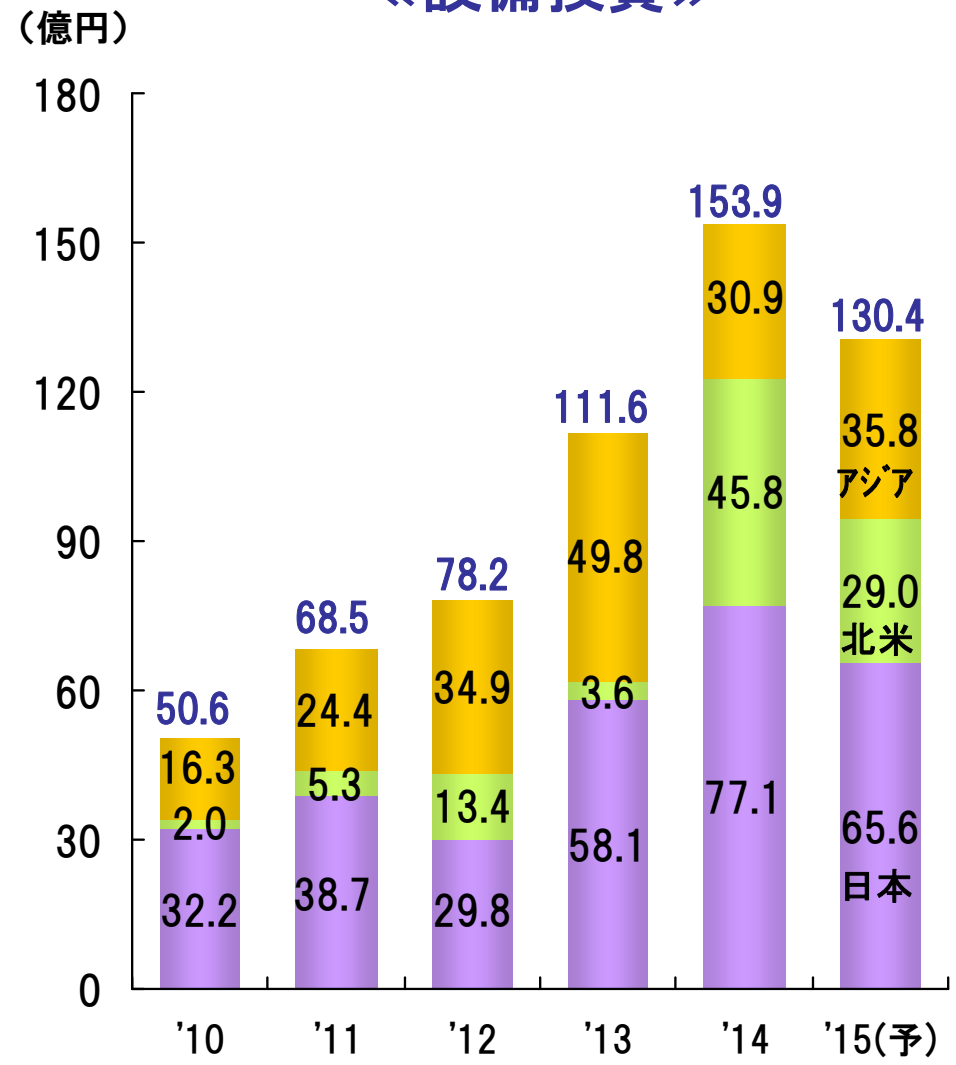


＜売上高＞
台湾におけるプレス事業の減収があるものの、中国プレス事業の新規顧客への拡販、タイの樹脂事業、韓国のアルミダイキャスト製品の販売増加により、増収を見込む。

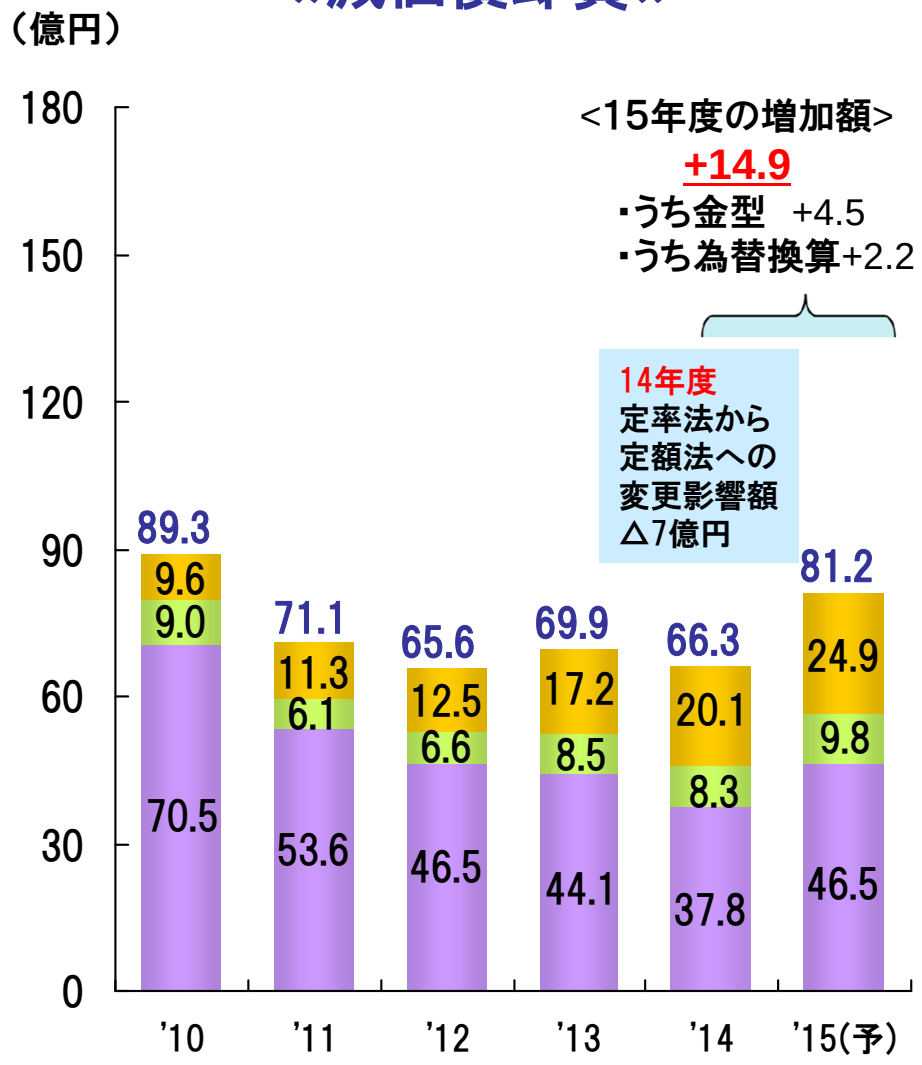
＜営業利益＞
台湾プレス事業の減収、中国のTPMS生産子会社立ち上げコスト負担があるものの、新規顧客への拡販に加え、タイの樹脂事業の収益改善等により増益を見込む。

3-9 連結設備投資・減価償却費予想

≪設備投資≫



≪減価償却費≫

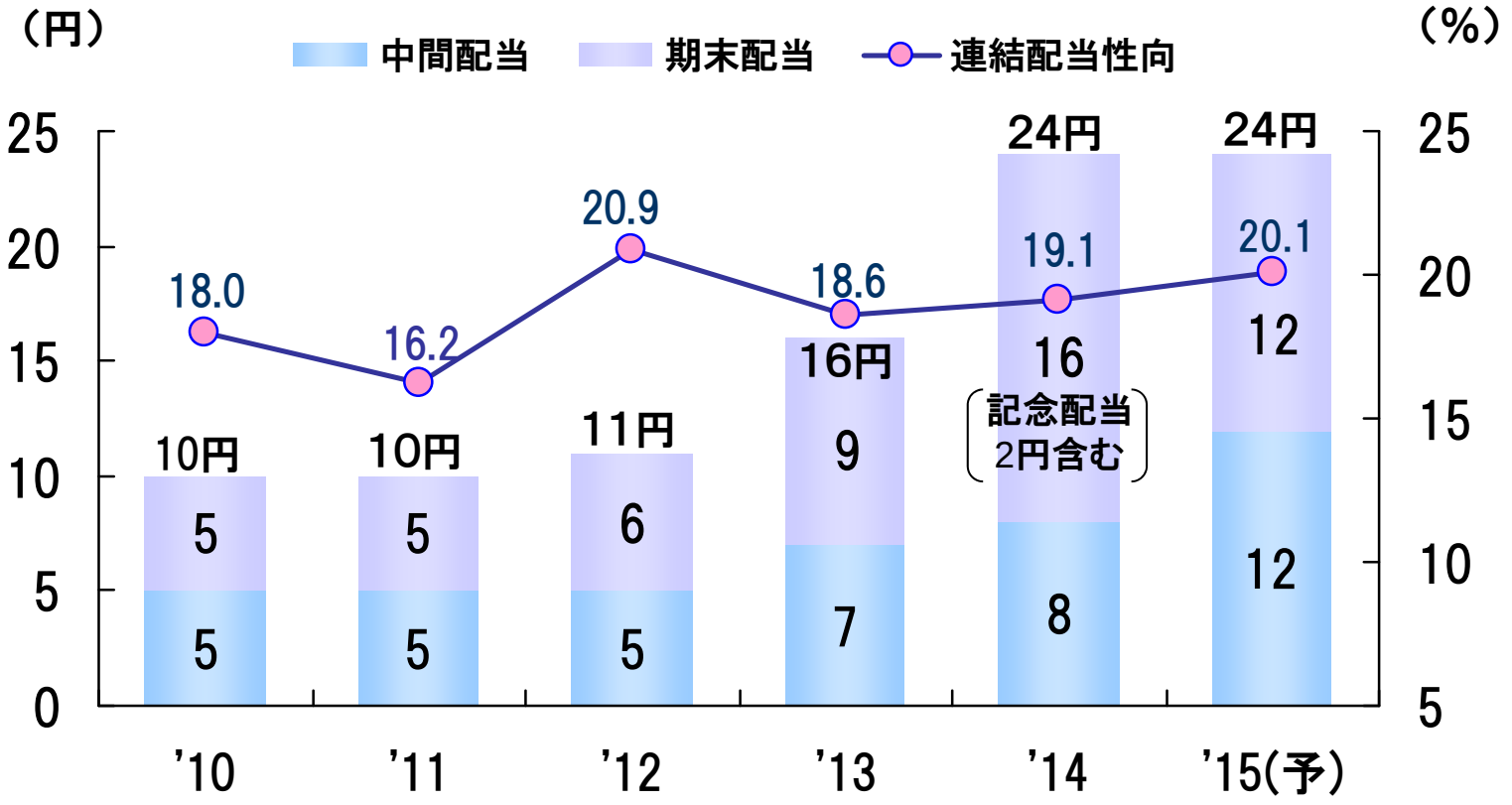


3-10 株主還元

■年間配当

2014年度　　年間:24円(中間:8円 期末:16円)

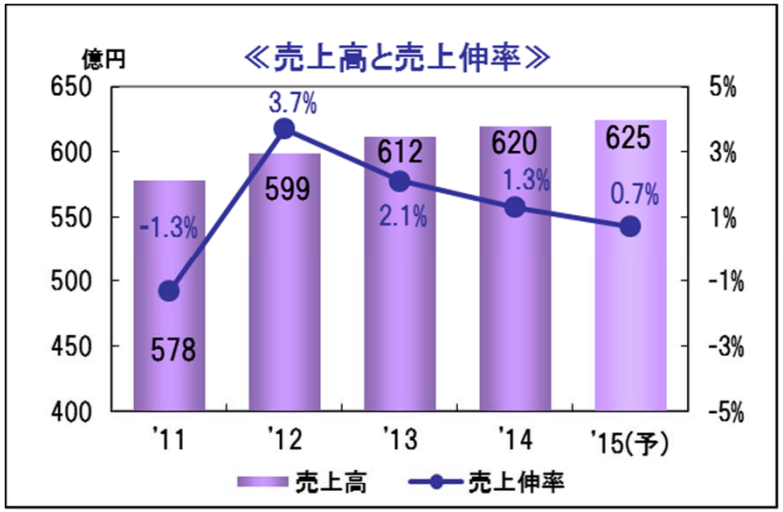
2015年度予想　年間:24円(中間:12円 期末:12円)

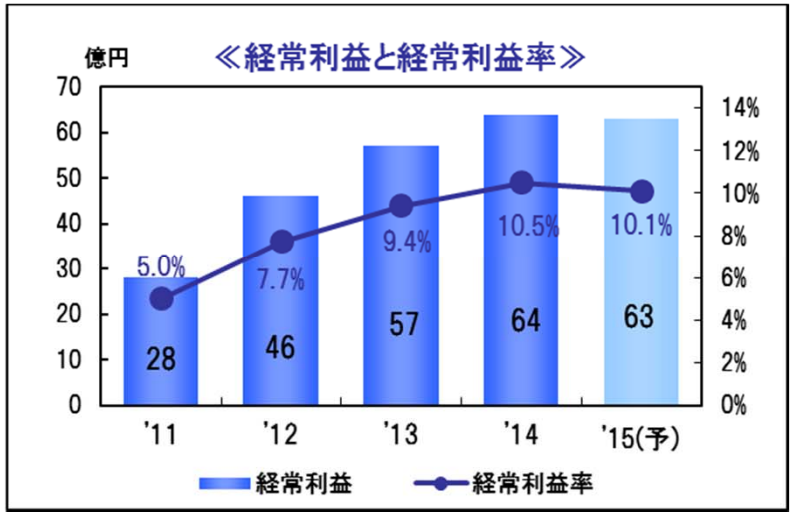


3-11 ＜参考＞個別業績

［百万円］

	第2四半期		前期比		通期		前期比		通期(予想)
	'14	'15	増減	増減率	'14	'15	増減	増減率	
売上高	29,950	30,770	819	2.7%	62,080	62,500	420	0.7%	4期連続の増収
営業利益	2,213	2,330	117	5.3%	5,115	5,100	△15	△0.3%	4期振りの減益
経常利益	2,971	3,135	163	5.5%	6,493	6,300	△193	△3.0%	7期振りの減益
当期純利益	2,157	2,777	619	28.7%	4,643	4,800	157	3.4%	7期連続の増益 過去最高
配当金(1株当り)	8円	12円	4円	50.0%	24円	24円	―	―	
売上高経常利益率	9.9%	10.2%	0.3%		10.5%	10.1%	△0.4%		
ROE	―	―	―		9.4%	8.8%	△0.6%		
ROA	(円) ―	―	―		6.5%	6.0%	△0.5%		
一株当り純資産	(円) 888	994	106	11.9%	1,001	1,019	18	1.8%	





4-1 PACIFIC GLOCAL VISION 2020

GLOCALとは、「GLOBAL」と「LOCAL」を組み合わせた造語です。私達は、世界（GLOBAL）を舞台に成長を図り、それぞれの地域（LOCAL）の発展に貢献したいと思っています。

めざす企業像・機能のあり方

＜創立100周年　2030年への一里塚として策定＞

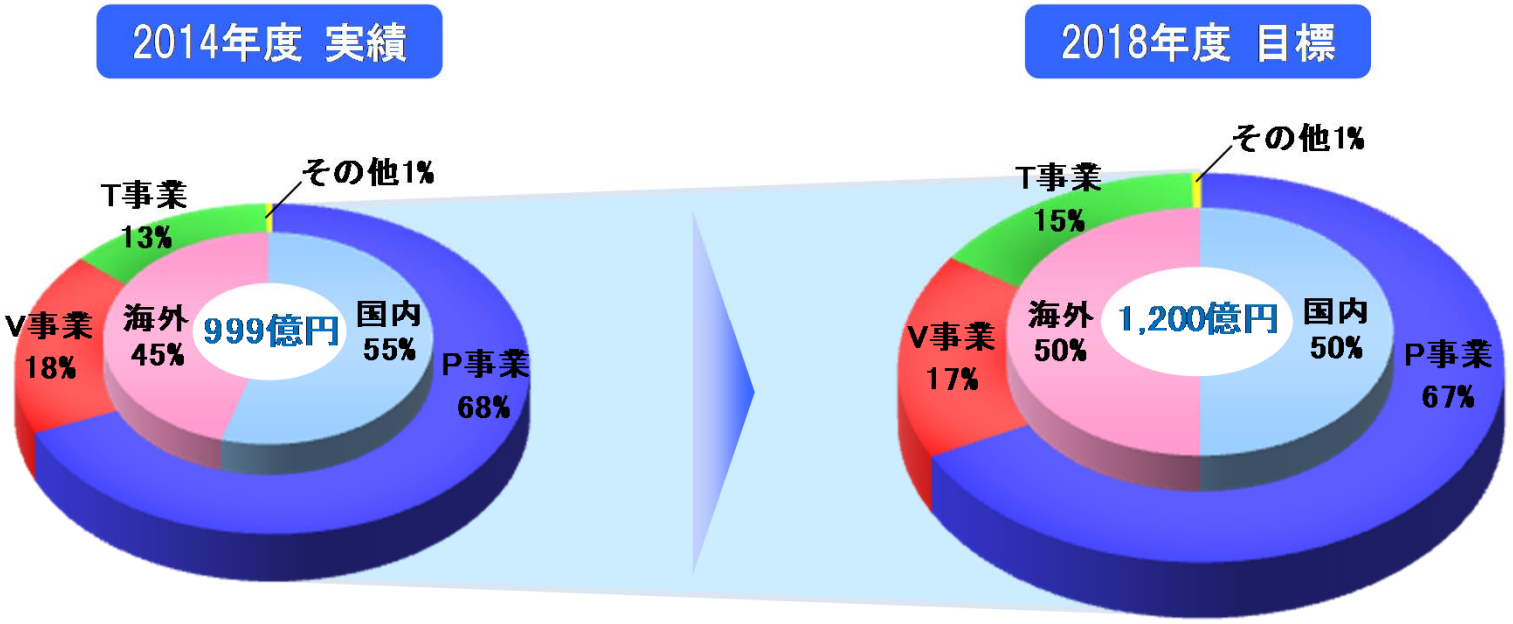
- 「連結経営」から「融合経営」へ
- 5つの“シンカ”（深化・進化・新化・真価・信加）を追求する企業

5つの“シンカ”

① 深化 ：改善する力
② 進化 ：革新する力
③ 新化 ：新技術・事業を起こす力
④ 真価 ：企業価値を高める力
⑤ 信加 ：信頼を勝ち取る力

CSRのトライアングル

4-2　中期経営計画「OCEAN-18」



1$=115円前提

2018年度 目標

連結売上高	：	1,200億円
連結経常利益率	：	8%台
海外売上高比率	：	50%以上
総資産回転率	：	1．05回転以上

P事業･･･プレス･樹脂加工　V事業･･･タイヤバルブ･空調バルブ　T事業･･･TPMS(タイヤ空気圧監視システム)

4-3　新中期経営計画「OCEAN-18」

**長期ビジョンの確実な実効をめざし、2018年の事業のあり方を明確にするため、
中期経営計画「OCEAN-15」のローリングプランとして「OCEAN-18」を策定しました。**

トップクラスのグローカルな部品メーカーをめざす

キーワード
- 技術と海外
- ものづくりは人づくり
- CSRと環境保全

深化　改善する力　QUALITY & COST IMPROVEMENT
- TPS・自工程完結のレベルを上げ、世界品質を実現
- 設備保全の強化と自働化を進め、高効率な生産性を追求
- 匠の技の継承と先端技術による“ものづくり革新”

進化　革新する力　TECHNOLOGY INNOVATION
- 材料・設計・工法革新による新技術の創出
- スリム・コンパクト・フレキシブルなラインの実現
- 環境に優しい次世代製品・工法の開発

新化　新技術・事業を起こす力　BUSINESS DEVELOPMENT
- マーケティング活動による新商品・新市場の企画
- 新拠点とグローバル営業・調達・生産体制の構築
- 戦略的なM&A、アライアンスによる事業拡充

真価　企業価値を高める力　BRAND ENRICHMENT
- 財務体質を強化し、資産価値を向上
- 環境負荷を軽減し、サステナブルな社会に貢献
- 太平洋の価値観を共有し、グローカル経営を実現

信加　信頼を勝ち取る力　RESPECT & RESPONSIBILITY
- グループ全体でCSR・BCMを遂行
- 安全・安心・健康な職場づくりの実践
- チャレンジする風土づくりと人財育成の推進

TPS…Toyota Production System　CSR…Corporate Social Responsibility　BCM…Business Continuity Management

4-4　主な戦略投資の内容

（単位：百万円）

地域	内容	投資額（工事ベース）			
		13年度	14年度	15年度	13-15累計
日本	東北地区拠点整備（プレス工場建設）	400	1,800	500	2,700
	（4-5） 超ハイテン、ホットスタンプ加工対応	1,100	1,000	600	2,700
	（4-8） 高精度プレス事業の増強	100	100	200	400
	環境投資	300	200	200	700
日本 計		1,900	3,100	1,500	6,500
北米	（4-6） 米国　プレス事業拡充	—	3,800	2,200	6,000
北米 計		—	3,800	2,200	6,000
アジア	（4-5） 中国天津　プレス機増設	1,600	300	400	2,300
	（4-5） 中国長沙　プレス工場・設備	1,500	1,400	400	3,300
	（4-11）中国常熟　TPMS工場・設備	—	200	1,700	1,900
	（4-7） タイ　工場・樹脂設備他	300	300	500	1,100
	（4-9） 韓国　アルミダイカスト工場・設備	1,300	800	400	2,500
アジア 計		4,700	3,000	3,400	11,100
合計		6,600	9,900	7,100	23,600
年度別 総投資額		11,160	15,390	13,040	39,590

4-5 プレス事業の拡充

■1,180MPaの超ハイテン材のプレス加工ライン増強

自動車メーカーの軽量化ニーズに対応するため、
超ハイテン加工能力を増強。日米中グローバル生産体制を拡充。
更にホットスタンプの設備増強を検討中。

	導入拠点		加圧能力(t)	稼働時期
冷間プレス	日本	九州	2500	'14年2月
		大垣	3000	'14年10月
	北米	米国	3000	'16年春予定
	中国	天津	2500	'14年1月
ホットスタンプ	日本	養老	500	'14年5月
		大垣	800	'17年春予定

センターボディピラー

18年度売上高増加見込:14年度比約70億円

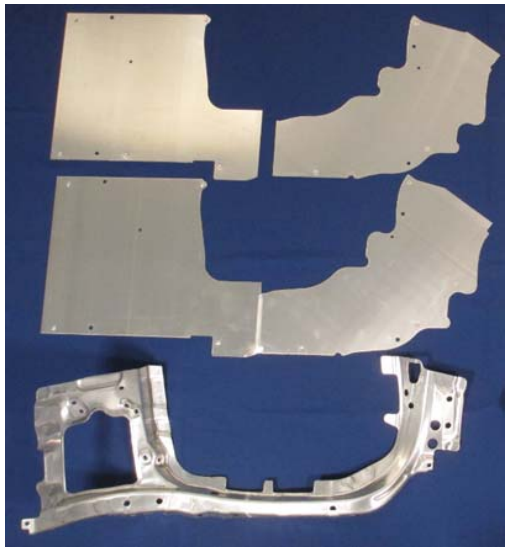
ホットスタンプとは
電気炉で約900℃に加熱した鋼板をプレス加工し、高い強度を持たせる工法。

4-6 プレス事業の拡充

■摩擦撹拌接合(FSW)技術の開発

トヨタ自動車「技術開発賞」受賞

厚みの違うアルミ板材を摩擦撹拌接合(FSW)により溶接し、歩留り向上と軽量化。



FSWを用いたアルミ板接合技術

■北米第2拠点で生産を開始

北米の自動車産業拡大に対応するため、テネシー州ジャクソン市近郊に第2生産拠点を設立。
2015年8月から生産を開始。

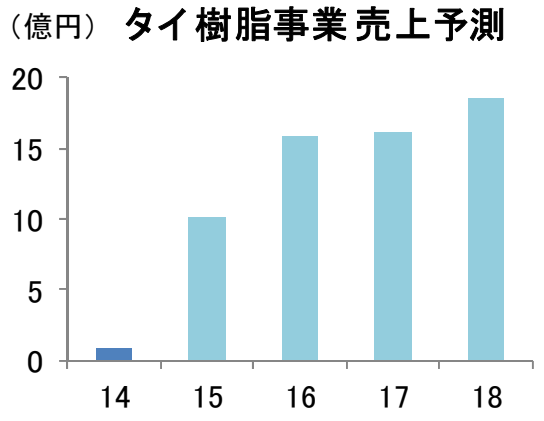
Pacific Manufacturing Tennessee, Inc.

18年度売上高増加見込:14年度比約40億円

4-7　樹脂事業の拡充

■タイで樹脂事業を開始

Pacific Industries(Thailand) Co.,Ltd.に
第2工場を建設し、樹脂製品を生産開始。
技術・デザイン・コスト競争力が評価され、
日系自動車メーカー7社から受注を獲得。



18年度売上高増加見込：14年度比約20億円

■セレクタブルカラートリムホイールを開発

トヨタ自動車「技術開発賞」受賞

アルミホイールに樹脂パーツをワンタッチで
取付け、軽量化と高意匠性を実現。

セレクタブルカラートリムホイール

4-8　高精度プレス事業の拡充

■高精度プレス加工の能力増強

エンジン・トランスミッションの高精度部品をネットシェイプにより、プレス加工で製造。
生産能力増強、新技術と多客化により、売上拡大をめざす。
北米での事業化を検討中。

18年度売上高増加見込：14年度比約10億円（+40%）

キャリアプレート

スプロケット

4-9 バルブ事業・ダイカスト事業の拡充

■燃料電池自動車用リリーフバルブを開発

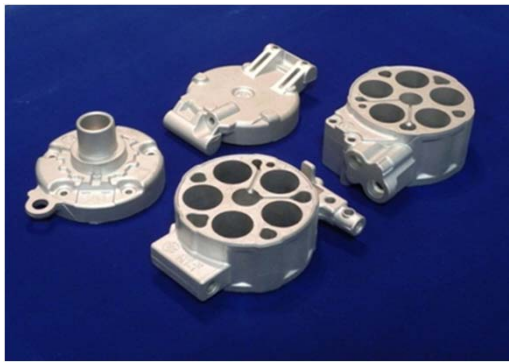
2015年“超”モノづくり部品大賞
「環境関連部品賞」受賞

バルブ事業で蓄積したシール技術、
圧力および流体制御技術を応用し、
燃料電池自動車用リリーフバルブを開発。

燃料電池自動車用
リリーフバルブ

■韓国：太平洋エアコントロール工業で アルミダイカスト事業を拡充

カーエアコン用コンプレッサーの
ケーシング部品をダイカストから
切削加工まで一貫生産。

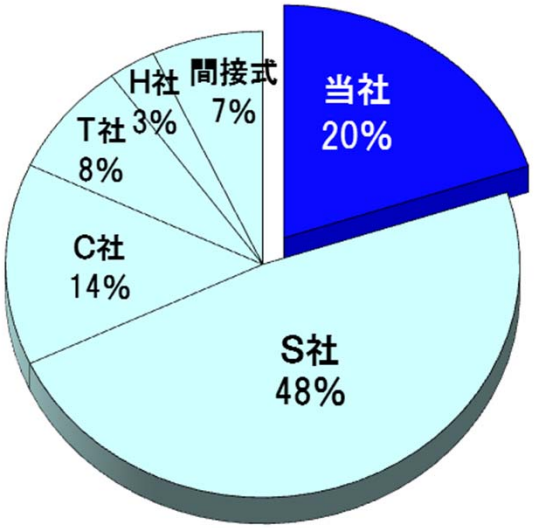


アルミダイカスト製品

18年度売上高増加見込：14年度比約10億円（+30%）

4-10 TPMS事業の拡充

■TPMS送信機 北米シェア



■各地域の法制化の動き

地域	法規開始時期
北米	2005年10月
欧州	2012年11月
韓国	2013年1月
台湾	2014年11月
中東7ヵ国	2017年 予定
ロシア	2016年1月 予定
中国	未定
日本	未定

■TPMS送信機の生産・販売拠点

生産・販売拠点		(16年)生産能力	販売先
日本	大垣	1,600万個/年	世界全域
米国	オハイオ	300万個/年	北米、欧州
中国	常熟	300万個/年 予定	中国、他
ベルギー	ブリュッセル	ー	欧州
合計		2,200万個/年	

’14年1月に生産累計1億個を達成

スナップインタイプ

クランプインタイプ

4-11　TPMS事業の拡充

■TPMSの中国現地生産化

中国におけるTPMS装着法規化を想定し、現地生産会社を設立。
日系・欧州系・中国自動車メーカーの受注拡大をめざす。
2016年4月生産開始予定。

太平洋汽車部件科技(常熟)有限公司

18年度売上高増加見込:14年度比約20億円

■スマートフォンTPMSを開発

センサ送信機で得られたタイヤ内情報(圧力、温度)を車室内に設置した受信機で受け、無線LAN 経由でスマートフォンに表示するシステム。

スマートフォンのアプリケーション表示例

4-12 コーポレートガバナンス・コード

ガバナンスコード73項目を遵守する。

■社外取締役の増員

社外取締役を1名→2名体制にし、経営監督体制を強化

■社外役員による定期連絡会を開催

社外役員が取締役会で適切な関与・助言ができるよう、
社外役員同士が情報交換・認識共有する機会を確保

■招集通知の早期開示、インターネット行使※の導入

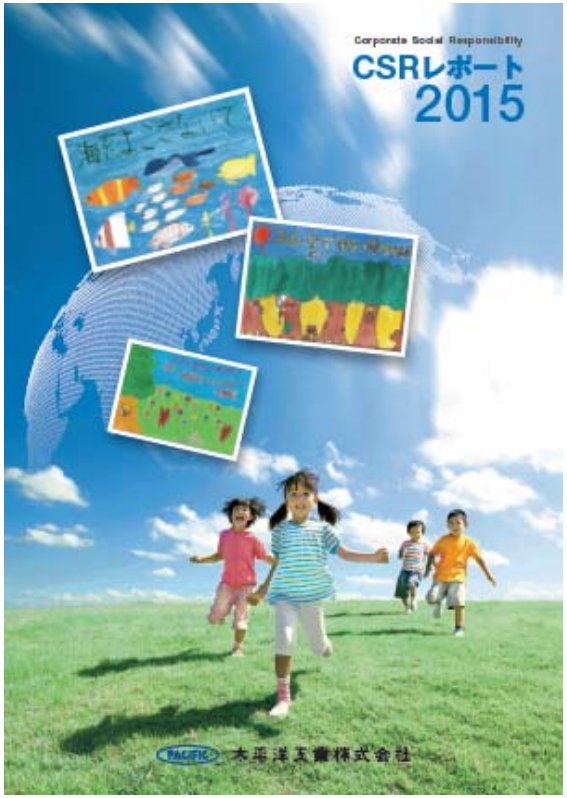
株主総会において議決権を行使し易い環境を整備

※2016年株主総会から実施予定

（参考）CSRの取り組み

■CSRレポート2015発行

http://www.pacific-ind.co.jp/csr/report/



環境保全、次世代人財育成、スポーツ・文化振興などに貢献